



Q.空港の仕事を見学する機会がありますか？

A.富士山静岡空港では、9月20日の「空の日」等に合わせて空港の仕事を見学できるイベントを行っています。航空管制運航情報官が勤務する管制塔や麻薬探知犬が働く税関の見学、化学消防車やグランドハンドリング用車両への試乗、パイロットや客室乗務員等から仕事の様子を聞くなど、内容は様々です。人気のイベントなので、興味のある人は富士山静岡空港のホームページなどで情報をチェックしよう！



税関職員

全国各地の港や空港で、海外から日本に輸出入されるモノの出入りをチェックする仕事です。日本の法律で輸入することができないモノ（覚せい剤、大麻等の不正薬物や拳銃、ブランド品のコピー商品、絶滅危機に瀕した野生動植物など）が密輸入されないように取り締まりを行ったり、海外から日本に輸入される貨物に対して、書類の審査や貨物の検査をし、関税や消費税を徴収したりしています。

この仕事に就くには？

税関職員になるためには国家公務員試験に合格しなければなりません。国家公務員試験には年齢や学歴に応じて「高卒者試験」と「大卒者試験」があり、どちらも筆記試験と面接試験が行われます。合格後、税関で実施される面接試験に合格すると晴れて税関職員になります。税関業務が外国貿易と密接に関係していることから、英語を中心とした語学力を習得しておくことで業務に活かすことができます。

やりがい

取締業務については、国民の健康や安全を守っていること。また外国製品は全てが税関で通関された品物であり、貿易の最先端で働いていることを実感できやりがいを感じます。



入国審査官

空港に着いた外国人は入国審査官に対して入国目的や滞在期間を申告して上陸（入国）許可の申請をします。入国審査官は指紋と顔写真の個人識別情報の提供を受けて、パスポート、ビザ、申請内容を確認し上陸（入国）を認めてよいと審査します。

この仕事に就くには？

入国審査官は法務省入国管理局の職員で身分は国家公務員ですので、国家公務員試験に合格する必要があります。入国審査官になった際は外国語の会話能力を身に着けたり、入管法や国際法などの法律、日本が締結している国際条約について理解を深めたりすることが、仕事に大いに役立ちます。

やりがい

世界と日本を結ぶという大変重要で責任のある出入国管理業務を通じて、日本の安全と国民生活の安定、経済・文化・社会の発展の一翼を担っていることです。